

高道小 服装について

R7,11

1 通常時

服装	・標準服（紺色のブレザー、 スクールセーター 、半ズボン、スカート）を着用する。 夏期は、半袖シャツ、ポロシャツを着用する。
シャツ	・襟つきの白いシャツ、ポロシャツ。 ・ボタンは一番上だけはずしてもよい。 ・シャツのすそはズボンの中に入れる。
スカート	・肩ひもは必ず肩にかける。
ベルト	・つける時には、黒、紺、茶色を使う。
くつ下	・白、黒、紺、灰色をはく。キャラクター入りの派手なものは、はかない。 ★入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式の儀式的時は、白くつ下とする。
髪どめ	・黒、紺など派手ではない色で、飾りのついていないものを使う。
名札	・校内で左胸につける。登下校時はつけない。
上ぐつ	・白を基調とした物。 ・かかとをふまない。
赤白帽子	・登下校時に必ずかぶる。（1年生は黄色帽子）
体育服	・登下校時には着用しない。体育などの活動に必要な時だけ着る。 ★体育服には、学校名、学年、氏名を記入したゼッケンを胸につける。

2 厳寒時（12月～3月）※ただし、その年の気候によって変更する場合もある。

- 1 校内では、基本的に標準服（ブレザー）で生活する。
- 2 標準服（ブレザー）だけでは寒い場合、ブレザーの下にスクールセーター（紺）やトレーナーを着用してもよい。
（トレーナーの色は黒、紺、白、灰色の四色。ブレザーからはみ出すものは着ない。
安全上フードつきは着ない。）
暖かくなってきたら、スクールセーターやトレーナーを脱ぎ、ブレザーを着用する。
- 3 寒さが厳しい場合、登下校時には標準服の上に防寒着（長ズボン・タイツ含む）、ネックウォーマーを着用してもよい。（安全上フードつき防寒着は着ない）登校後は脱ぐ。
厳寒時は長ズボン（ジャージ）やタイツを着たまま学校で過ごしてもよい。
タイツは、安全に運動ができるように体育の授業時は脱ぐ。（靴下を持参すること）
女子は、長ズボンの上にスカートををはかない。
男子は、半ズボンの上に長ズボンをはいてもよい。
また、手袋は登下校中及び屋外で着用してもよい。
- 4 使い捨てカイロ等は、持って来ない。（必要な時は担任に相談願います）